

## 「地域課題分野」(平成27年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
湿原の効果および融雪期の特徴を再現できる洪水予測モデルの開発 (研究期間：H27年～H29年)	神戸大学 中山 恵介	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b> <p>寒冷地域に属する釧路川では湿原が広がっており、河川勾配が急激に変化する湿原域において洪水時には氾濫が発生し、下流端における洪水のピークを予想することが困難となっている。さらに、湿原が存在することにより湿原域での河川勾配が緩く、潮位の影響を大きく受けるため高精度な流量再現モデルが望まれている。そこで、寒冷地域に特有の融雪期における洪水を対象とし、湿原域での氾濫による洪水ピークの到達時間の遅れを考慮出来るモデルを開発することを目的とする。</p>		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> <p>氾濫を考慮した湿原での流出現象を再現し、対象流域において実用的な洪水予測モデルとなっていることから研究目的は達成され十分な成果があったと言える。今後は、タイムラグの合理的な与え方についての研究を進展させることが期待される。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い